

## 田矢修介議員

- (2) 税収減や扶助費等の増大要素をどの様に織り込んでいくのか
- (3) 今後において進行管理はどの様に担保されるのか

### 4 行財政改革のあり方から

- (1) 事務事業の見直しについて
  - ア 事業の優先順位付けをどの様に行うのか
  - イ 行政評価システムの完全実施は
  - ウ 民間委託のあり方は
- (2) 外郭団体改革のあり方について
  - ア 関与のあり方を見直すとするがなぜ今なのか、蓋然性は
  - イ 損失補償契約はないか
  - ウ 債務超過団体はないか
  - エ 財務分析は精緻・適切になされているか
- (3) 組織のあり方について
  - ア 昇格・降格の弾力的な運用は図られるのか
  - イ 人材評価制度と成果主義に対する所見を問う
  - ウ 現在の取り組みで意識が変わらない理由は何か

### 5 資産・債務一体改革のあり方について

- (1) (57億円は臨時財政対策債であることを踏まえつつ)一般会計予算中95.6億円が借金で賄われ、122億円を借金の返済に充てている。健全と言えるのか
- (2) 資産・債務一体改革をなすべきではないか
- (3) 低成長と財政悪化の懸念がある中で借金依存体質を断ち切れるのか
- (4) 大型事業を控え「帰らざる河を渡ってしまう」ことにならないか

### 6 電子自治体戦略から

- (1) 地域情報化の進捗について

- ア ユビキタス観光ナビゲーションシステムなど、各システムが実現した場合、真に恩恵を享受できるのか
- イ 現状における進捗の評価をどう捉えているか
- (2) グリーンITへの具体的な取り組みについて
  - ア 現在、どれだけのIT機器(パソコン・プリンタ・複合機・複写機など)が存在しているか
  - イ 人の導線にあった配置・台数を検討する中で、現在使用している台数の削減・トナーや電気の削減についての目標値はあるか
  - ウ 低炭素化社会への取り組みなど環境への配慮も明確な目標が求められる中でグリーンITへの具体的な取り組みを問う

### 7 障がい者福祉のあり方から

- (1) 障がい者の現況について
  - ア 平成20年3月31日現在、日本全国に障害者手帳を持つ人は4,946,431人おみえになるが、津市において障がい者の状況は
  - イ 自立支援法の適用を受けている人は何人か
- (2) 障がい者の就労について
  - ア 自立支援法で自立できているのか、「親無き後」の不安解消は
  - イ 雇用事業者への支援など雇用を促進せよ

- ウ 障がい者雇用促進の観点からも作業所等への更なる支援が必要と考えるが

- (3) 障がい者への支援について
  - ア 家族があるというだけで支援をしなくて良いのか

- イ 入所施設が不足していないか

### 8 教育方針及び教育姿勢について新教育長に問う

- (1) 公教育への信頼をどの様に醸成して行くのか
- (2) 改正教育基本法をどう評価しているか
- (3) 「公共の精神の尊重」「伝統と文化の尊重」「我が国と郷土を愛する態度」に対する所見は。教育方針に明記されない理由は何か
- (4) 改正地方教育行政法に基づく教育委員会の点検・評価はどの様に生かされているか
- (5) 改正学校教育法で設置できるようになった「副校長」「主幹教諭」「指導教諭」に対する所見は。必要とする考えはないか
- (6) 中学校給食の完全実施は機会の提供か、教育か
- (7) 県学力定着調査研究事業の補助事業の活用を図る考えは
- (8) 学童保育(放課後児童クラブ)の充実に対する津市の姿勢を問う

▶  
地域医療の充実が求められる

